

令和3年11月9日

子どもの権利に関する条例検討委員会

資料 12-2

## 日本ユニセフ協会

### 『ユニセフ CRE ハンドブック 「子どもの権利条約」を学級経営に生かそう～子どもと先生でつくる みんなが尊重される学校・園～』

このたび、公益財団法人 日本ユニセフ協会(東京都港区 会長：赤松良子)は、「子どもの権利」を大切にする教育(Child Rights Education: CRE)を日本の教育現場で推進していくことを目指し、『ユニセフ CRE ハンドブック 「子どもの権利条約」を学級経営に生かそう～子どもと先生でつくる みんなが尊重される学校・園～』を発行しました。

今から約30年前の1989年に国連総会にて採択された「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」。

ユニセフは、この「子どもの権利条約」を活動の基盤としており、「子どもの権利」をあらゆる面で実現していくことをその使命としていますが、その一環として、世界各国で「子どもの権利」を大切にする教育(CRE)を推進しています。

この取り組みでは、子どもたちも先生方も「子どもの権利」について学び、その権利が実現される環境や学びを共に作ります。また、その過程で子どもたちは人権とは何かを理解し、人権尊重の態度を養います。おとなも子どももお互いの権利を尊重しあえる環境づくりが、子どもたちだけでなく先生方や学校職員、そして教育現場全体により効果をもたらすことを目指します。

『ユニセフ CRE ハンドブック』では、「子どもの権利」について理解し実践していく上での大切なポイントについて、また、「子どもの権利」をどのように学校・園での教育活動に生かしていけるか、いくつかの実践例を含めて紹介しています。巻末には、実際に授業などでご活用いただけるよう、『子どもの権利条約』第1～40条の日本ユニセフ協会抄訳もカードの形で掲載されています。

いじめや差別、自己肯定感の低さや無力感、これらはよく日本の子どもたちを取り巻く課題として取り上げられる言葉です。また多様性の尊重、お互いの個性や違いを認め合う精神の育成は、教育においても重要視されています。ユニセフの提唱する「子どもの権利」を大切にする教育(CRE)が、これらの課題の解決、そしておとなも子どもも安心して生き生きと過ごすことのできる学校・園づくりの一助になることを願い、このハンドブックを作成いたしました。

『ユニセフ CRE ハンドブック』は、今月、全国の学校・園に配布されますが、下記の日本

ユニセフ協会ホームページからも PDF 版をダウンロードいただけます。

[https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryo/pdf/cre\\_2021.pdf](https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryo/pdf/cre_2021.pdf)

\* \* \*

#### ■ ユニセフについて

ユニセフ(UNICEF: 国際連合児童基金)は、すべての子どもの権利と健やかな成長を促進するために活動する国連機関です。現在約 190 の国と地域※で、多くのパートナーと協力し、その理念を様々な形で具体的な行動に移しています。特に、最も困難な立場にある子どもたちへの支援に重点を置きながら、世界中のあらゆる場所で、すべての子どもたちのために活動しています。 <https://www.unicef.or.jp/>

※ ユニセフ国内委員会(ユニセフ協会)が活動する 33 の国と地域を含みます

※ ユニセフの活動資金は、すべて個人や企業・団体からの募金や各国政府からの任意拠出金で支えられています

#### ■ 日本ユニセフ協会について

公益財団法人 日本ユニセフ協会は、先進工業国 33 の国と地域にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、募金活動、政策提言(アドボカシー)を担っています。 <https://www.unicef.or.jp/>